

令和元年12月9日 校長 高倉 満

～一つのことば～

その一言

そのひと言で夢を持ち
そのひと言で腹が立ち
そのひと言でがっかりし
そのひと言で泣かされる

ほんのわずかなひと言が
不思議に大きな力を持つ

ほんのちょっとのひと言で

長かった2学期も、あと2週間ほどになりました。先生方は「評定」、担任の先生は通知表の作成と、悩みながらも緊張感のある日々を過ごしていると思います。さらに三年生は明日からの三者面談の準備もあり、ご苦労をかけます。通知表は保護者と学校のコミュニケーションのツールでもあります。だからこそ、成長した姿とその価値を具体的に書いて示すと保護者も生徒も喜びます。また、課題についても、事実を具体的に示しながら改善の方策や成長する期待感についても示す必要があります。生徒との関わりを大切にしながら、掃除や給食、授業や部活、そして友達へのかかわり等、生徒の良いところを一生懸命に探してみましょ。生徒会が取り組んでいる「ハッピーフライデー」の内容など、私たちが日頃、見過ごしている生徒の姿をとらえています。私たちがつける評定はもちろん、所見も重みがあります。そのためにも「良さを見つける目」や「価値ある言葉」を鍛えていきましょう。

□「ハッピーフライデーから」

- 綾部よしゆき君が山口先生の機嫌の悪さを優しい言葉「深呼吸してください」と声をかけておさえていた。
- 上川たくむ君と小河しょうじ君が給食の時間、食器が割れた時、片付けを最後まで手伝っていた。
- 永井たくと君が数学の時間、風邪気味でティッシュを欲しがっていた西見先生にすぐに渡していた。
- 黒木あおいさんが、掃除の後、班の人たち以外の人椅子を降ろしていた。
- 上村ゆみえさんが、係でもないのに昼休みに黒板をきれいにしていた。
- 石井にちか君が数学の分からない問題を分かりやすく教えてくれた。
- 高橋こうき君が食事中に友達がこぼしたのを見て、そっとティッシュを貸してあげていた。
- 石井ひろと君がテスト前に何度も復習をしていたのでいいと思った。
- 小出まりんさんが欠席者や教室に戻っていない人の机をどンドン下げて、自分の机を下げてもらったら「ありがとう」と、お礼を言っていて良いと思った。
- 青木かずま君がテストが終わった後、みんなの分の机をもとに戻していた。

他にもたくさんあります。友達の頑張り（良さ）に気づき、認める。日々の生活の中で生徒の優しさがつなげていくといいですね。また、友達の良さに気づいていく感性を育てていきましょう。

□負けるな3年生～職員みんなで声かけをしていきましょう～

3年生にとってはこれからが正念場。必死になって目標達成のために力をつけるときです。授業はもちろん、学年を越えて先生方から声をかけてもらおうと嬉しいと思います。①可能性を信じること②最後まであきらめないこと③高い目標が行動を変えること、そんなことを先生方の言葉で伝えてください。浮羽中全員の先生方が応援していること、みんなに支えられていることを伝えていきましょう。

□NICO (Nice Communication) 放課後の英会話教室が始まりました！

浮羽中は毎週第一、第三月曜日 16:30～17:00 で開催されます。

2年生 10名、3年生4名でのスタートになりました。本校のサム先生、小学校、吉井中のALTの3名と教育委員会がお世話をしてくれます。第1回目は少し緊張気味の生徒達でしたが、オールイングリッシュを基本に、ALTの先生の質問に答えたり、聞き取ったりと必死に耳を傾けている姿が印象的でした。

次は2020年1月20日(月)になります。興味のある先生はぜひ参加してみてください。基本的な英会話からのスタートなので、私も楽しく参加させてもらいました。

